

(資料)

今年度の活動日誌

Report on Activities in 2002

今年度(2002年度)の「日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)」のデータ収集・データ利用サービス活動は、今年度から新たに始まった科研費(研究成果公開促進費;データベース)によるサポートのもとで行なわれてきた。

活動の基本的な体制は、昨年までと変わっておらず、以下のように8回の管理運営委員会を開催し、核反応データの収集、入力、管理を行なってきたが、その活動内容はこれまで比べても大変充実したものとなった。

今年度の活動の主な特徴として、1)データの収集、コーディング、入力の作業が著しく向上したこと、2)データの利用について、NRDFデータの検索システムの改善、EXFORデータの利用システムの作成等を挙げることができる。

データの収集については、著者から直接数値データを入手することによって、データの質を大きく改善することができた。また、Web上でデータの編集・入力するシステムの完成によって、入力データのエラーなどが激減し、データの質が大幅に向上した。この新たなシステムはNRDFのデータの編集・入力するためのものであるが、同時にEXFORへの変換を自動的に行なうシステムでもある。その結果、EXFORデータの作成がNRDFデータと同時に進められ、今年度IAEAへの送付データ量が大幅に増えることとなった。

一方、データの利用システムの改良については、北見工大の青山グループがインテリジェント・パッドを用いたEXFORデータ利用システムの作成を試み、北大グループの内藤・コレノフがWeb上でのNRDFデータの利用システムの改訂版および新たにグラフ利用システムの作成を行なった。

それらの成果については、本報告書を参照していただくとして、今年度から、核データの総合利用システムの作成計画が原研の核データセンターを中心にスタートすることになり、ここで述べた内藤・コレノフによるWeb上での核データ利用システムおよびグラフ作成システムについては、その核データ総合利用システム作成に参加して全面的に協力していくことになったことを今年度活動日誌に付記しておきたい。

2002年	5月27~30日	IAEA Technical Meeting on NRDC 2002 Report' (パリ) 加藤、大林、大塚 出席
	4月8日	第1回荷電粒子管理運営委員会
	5月20日	第2回荷電粒子管理運営委員会
	6月24日	第3回荷電粒子管理運営委員会
	7月22日	第4回荷電粒子管理運営委員会
	10月15日	第5回荷電粒子管理運営委員会
	11月26日	第6回荷電粒子管理運営委員会
2003年	1月28日	第7回荷電粒子管理運営委員会
	2月28日	第8回荷電粒子管理運営委員会